

同じ符号の2つの数の除法

同じ符号の除法は、下のように計算する。

- ・符号: 正の符号になる。
- ・絶対値: 2つの数の商になる。

・2つの正の数の除法

$$(+6.2) \div (+3.1) = + (6.2 \div 3.1) = +2$$

↑ 2つの数の商になる ↓
↓ 正の符号になる ↑

・2つの負の数の除法

$$(-6.2) \div (-3.1) = + (6.2 \div 3.1) = +2$$

↑ 2つの数の商になる ↓
↓ 正の符号になる ↑

異なる符号の2つの数の除法

異なる符号の除法は、下のように計算する。

- ・符号: 負の符号になる。
- ・絶対値: 2つの数の商になる。

・異なる符号の2つの数の除法

$$(+6.2) \div (-3.1) = - (6.2 \div 3.1) = -2$$

↑ 2つの数の商になる ↓
↓ 負の符号になる ↑

$$(-6.2) \div (+3.1) = - (6.2 \div 3.1) = -2$$

↑ 2つの数の商になる ↓
↓ 負の符号になる ↑

1 次の計算をしなさい。

① $(+2.1) \div (-0.3)$

② $(-1) \div (-0.5)$

同じ符号の2つの数の除法

同じ符号の除法は、下のように計算する。

- ・符号: 正の符号になる。
- ・絶対値: 2つの数の商になる。

・2つの正の数の除法

$$(+6.2) \div (+3.1) = + (6.2 \div 3.1) = +2$$

↑ 2つの数の商になる ↓
↓ 正の符号になる ↑

・2つの負の数の除法

$$(-6.2) \div (-3.1) = + (6.2 \div 3.1) = +2$$

↑ 2つの数の商になる ↓
↓ 正の符号になる ↑

異なる符号の2つの数の除法

異なる符号の除法は、下のように計算する。

- ・符号: 負の符号になる。
- ・絶対値: 2つの数の商になる。

・異なる符号の2つの数の除法

$$(+6.2) \div (-3.1) = - (6.2 \div 3.1) = -2$$

↑ 2つの数の商になる ↓
↓ 負の符号になる ↑

$$(-6.2) \div (+3.1) = - (6.2 \div 3.1) = -2$$

↑ 2つの数の商になる ↓
↓ 負の符号になる ↑

1 次の計算をしなさい。

$$\begin{aligned} \text{① } & (+2.1) \div (-0.3) \\ & = - (2.1 \div 0.3) \\ & = -7 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{② } & (-1) \div (-0.5) \\ & = + (1 \div 0.5) \\ & = +2 \end{aligned}$$